

ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞



「女性アスリートの健康」 を考える

女性アスリートは、利用可能エネルギー不足、無月経、骨密度低下などの健康リスクを抱えやすい。近年では改善傾向にあるとされているが、今もスポーツの現場には女性特有の問題に対して知識・認識の不足といった課題が存在し、一部では誤ったトレーニングや指導も行われている。

第15回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞を受賞した能瀬さやか氏は、こうした課題を明らかにするとともに、医界・スポーツ界と連携した啓発活動を進め、スポーツと向き合う女性の「現在・未来の健康」に取り組んでいる。

受賞記念事業として実施するシンポジウム〈女性アスリートの健康を考える〉では、かつてトップアスリートとして活躍した有識者や現場指導者をパネリストに迎え、課題改善に向けた議論を行うとともに、女性スポーツ医学の知見や女性アスリートへの啓発を、一般女性全体のヘルスケア向上に結びつけていく取り組み等を検討する。

2023年 **6/2** [金] 14:30~

先着100名
事前申込
受付中



会場

御茶ノ水ソラシティ / Hall east 東京都千代田区神田駿河台4-6



能瀬さやか

ハイパフォーマンススポーツセンター
国立スポーツ科学センター
スポーツ医学・研究部 スポーツクリニック 婦人科



伊藤華英

競泳元日本代表
(一社)スポーツを止めるな 理事



河合純一

(公財)日本バラスports協会
日本パラリンピック委員会 委員長



高橋昌彦

日本郵政グループ
女子陸上部 監督



伊坂忠夫

学校法人立命館 副総長 立命館大学 副学長
立命館大学 スポーツ健康科学部 教授

14:00 受付開始

14:30 開会

基調講演 (30分) 能瀬 さやか

「女性スポーツ医学の知見や女性アスリートへの啓発が、一般女性全体のヘルスケアにつながる」

パネルディスカッション (70分)

〈モデレーター〉伊坂 忠夫

〈パネリスト〉能瀬 さやか 伊藤 華英 河合 純一 高橋 昌彦

16:30 閉会

スポーツを支える 縁の下の力持ちを称え、 さらなる チャレンジを奨励する。

「ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞」は、スポーツ界の縁の下の力持ちを表彰する制度です。スポーツ振興や社会の活性化につながる大きな成果に対し、縁の下から献身的かつ情熱的にその実現を支えた人物・団体を表彰します。

YMFSは、大きな成果と同様に、その実現を支えた活動やプロセスもまた、称賛されるべき対象だと考えています。スポーツチャレンジ賞は、そうした功績を称えるとともに、さらなる活躍への期待を込めてエールを送る表彰制度です。本賞を通じて、献身的かつ情熱的な活動に共感・称賛の輪が広がり、人びとが新たな行動を起こすきっかけとなること、そして「挑戦する心」が広く社会に浸透していくことを願って2008年度から実施しています。

対 象	スポーツ振興や社会の活性化につながる大きな成果に対し、献身的な活動で縁の下から支えた人物・団体
選考要件	<ol style="list-style-type: none">1. スポーツ振興や社会の活性化につながる大きな成果に対し、その実現に貢献・寄与した活動2. ロールモデルとして、他者や社会に対するより良い影響が期待できる3. 今後、さらなる活動の発展や活躍が期待できる
賞金・副賞	賞金(個人)100万円／(団体)200万円、賞状、メダル、副賞

<https://www.ymfs.jp/prize/>

候補者推薦募集について

2023年度（第16回）ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞の候補者推薦募集は、2023年7月初旬より当財団ホームページにて開始予定です。